

都道府県名：長野県	市町村名：茅野市	
1. 活動名 「市民の森」体験学習		
2. 取組の背景、目的 <p>背景：人々と里山の関わりが少なくなった現代において、里山とふれあい、活動する機会が必要である。</p> <p>目的：間伐や枝払いなどの森林整備体験や炭焼き体験を通して、里山の持つ公益的機能の重要性や森林整備の必要性を学習する。</p>		
3. 実施主体 <p>市民の森を創る会、茅野市</p>		
4. 取組の概要		
期 日	対 象	内 容
5月7～15日	市民（延べ7名）	炭材搬入、炭焼き、窯出し
10月6日	茅野高等学校2年生（6名）	間伐、玉切り、枝払い
10月15日	北部中学校1年生（127名）	間伐、玉切り、搬出
5. 支援事業 <p>炭焼き窯設置：長野県信州森の小径整備事業補助金（補助率4/10）</p>		
6. 取組等についての成果や課題 <p>環境学習のフィールドとして「市民の森」の活用が活発化してきたが、より多くの市民のみなさんに活用していただけるよう、魅力あるイベントの企画やPRが必要である。</p>		



**【炭焼き体験教室】**  
体験炭焼き窯「しなのがま」にコナラ材 930 k g を積込み



出来あがった炭 150 k g を搬出 (製炭率約 16%)、うち 125 k g は災害用備蓄燃料として茅野市へ寄贈



**【茅野高2年生 森林整備体験学習】**  
造林鋸を使った小径木の伐倒



**【北部中1年生 森林整備体験学習】**  
間伐材の搬出 (間伐材は学校敷地内の腐葉土ポットの用材に活用)